

# CX Cloudリリースノート2024年1月

## 内容

---

### 概要

#### 最新情報

[Cloud Network Success Trackの機能強化](#)

[新しい導入ライフサイクルのユースケース](#)

[NexusおよびAPIC資産の追加](#)

[インサイトの可用性](#)

[ファブリック/サイトの詳細](#)

[古いファブリック通知](#)

[WANサクセストラックを追加](#)

[Collaboration Successトラック追加](#)

[新しいサブスクリプションフィルタ](#)

[Webブラウザに追加されるページタイトル](#)

[Today Viewの機能拡張](#)

[新しいカードの追加](#)

[重大な障害データ](#)

[フィードバックセクションの削除](#)

#### 不具合

[解消された不具合](#)

[既知の障害](#)

---

## 概要

Customer Experience ( CX ) Cloud はあらゆるアーキテクチャにまたがって、新しいテクノロジーのオンボーディング、最適化、導入の全工程にわたりお客様の成功を実現する SaaS ソリューションです。Cisco Success Tracks サブスクリプションをお持ちのお客様は、以下の機能にアクセスできます。

- ・ コンテキスト学習:Ask the Expert(ATX)オンラインセミナー、成功のヒント、アクセラレータの取り組み、トレーニングを通じて、ネットワークエンジニアおよびアーキテクト向けの最新リソースを提供するコラボレーションインテリジェンスプラットフォームのウィンドウ
- ・ 信頼できるサポート：即時に発生する技術的な問題の解決を支援し、ソフトウェアおよびソリューションレベルで予防的かつ規範的なサービスオプションを取得します。
- ・ 洞察と分析：予防的かつ予測的な洞察を提供し、お客様が潜在的な問題を認識し、運用を最適化し、テクノロジーの導入と移行を促進するのに役立つデジタルインテリジェンスツール

・ エキスパートリソース：利用可能なすべてのアーキテクチャとシスコ製品をワンストップで利用できます。詳細な設計と検証に関する戦略的なエキスパートアドバイスや、業界固有のソリューションにアクセスできます。

このドキュメントでは、CX Cloudの新機能、解決された不具合、および既知の問題について説明します。この[リンク](#)を使用して、CX Cloudにアクセスし、CCOクレデンシャルでログインします。

## 最新情報

このセクションのリリースノートでは、2024年1月のリリースで使用可能になる予定の機能について詳しく説明します。

### Cloud Network Success Trackの機能強化

#### 新しい導入ライフサイクルのユースケース

Cloud Network SuccessトラックにDCN Digital Transformation Onramp ユースケースが追加され、Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller(NDFC)を使用しないお客様のために、スタンドアロンNexusスイッチをCX Cloudにオンボードするパスが提供されます。

#### NexusおよびAPIC資産の追加

CX CloudはCX Cloud Agentを通じてお客様のインベントリと直接対話できるようになったため、お客様はNexusスイッチやApplication Policy Infrastructure Controller(APIC)コントローラをIntersightを使用せずに追加できます。これらのアセットはAdmin Settings > Data Sources > Other AssetsでシードファイルまたはIP範囲オプションを使用して追加され、Assets & Coverage > Assetsタブに表示されます。ファブリックエクステンダは、その他のアセットのアップロードの一部としてサポートされています。



注：すでにIntersightによって管理されているAPICコントローラを追加すると、レコードが重複します。お客様は、他のコントローラで管理されていないAPICサーバをアップロードできます。

---

## インサイトの可用性

Cloud Network Success Trackのお客様は、Insightsタイルを使用できるようになりました。このタイルには、次のような利点があります。

### ソフトウェアの提案

Softwareタブでは、テレメトリデータ、リリースのバグ、セキュリティアラート、Field Notice、およびネットワークで現在有効な機能に基づいて、お客様のクラウドネットワークにインストールされているCisco Application Centric Infrastructure(ACI)ファブリックに関する情報を提供し、最適なソフトウェアバージョンを提案します。

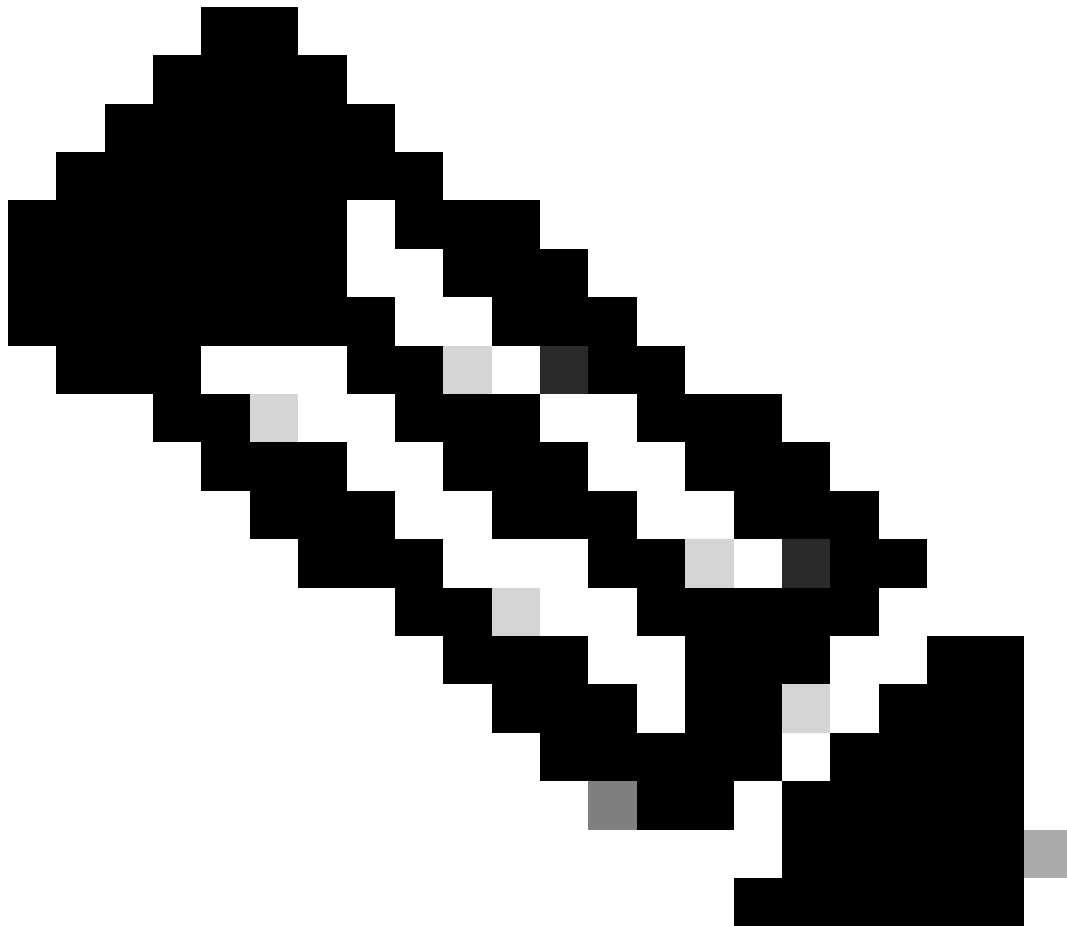
## 準拠

Complianceタブでは、有効なポリシープロファイルでのPCI違反やHIPAA違反を特定し、違反を解決するための今後の措置を判断するための情報を提供します。

### ファブリック/サイトの詳細

資産の新しいファブリック/サイト列がIntersightから追加されました。新しい列がAssets & Coverage > Assetsタブと、Affected AssetsタブにあるAdvisories詳細ビューに表示されます。

さらに、ファブリックの古さのフィルタが追加され、ファブリックごとに資産をフィルタリングして、導入済みファブリックに資産を関連付けることができます。7日以上経過したデータの場合、アセットテーブルの列とアドバイザリテーブルの列に警告アイコンが表示されます。



注：注：CX Cloud Agentを通じて収集された資産情報には、警告アイコンは表示されません。

## 古いファブリック通知

Insightsタイルが更新され、警告アイコンが表示されるようになりました。このアイコンは、Intersightデータが7日以上前のものであり、更新が必要であることを示しています。この注意は、管理設定のデータソースの詳細ビューでも確認できます。

## WANサクセストラックを追加


Wide Area Network(WAN) Success TrackがCX Cloudに追加され、Cisco Catalyst SD-WAN Manager (以前のvManage) やCisco DNA Centerなどのオプションを使用したSoftware Defined WAN(SD-WAN)への移行ルートを提供することで、お客様のネットワークを最適化します。この機能拡張の一環として、CX Cloud AdministratorはデータソースとしてCisco Catalyst SD-WAN Managerを追加できます。これにより、SD-WAN Managerに関連付けられたSD-WANデバイスのサポートが有効になり、CX Cloud Agentで追加のSD-WANデバイスがサポートされるようになります。使用可能なレベル1サクセストラックの機能には、資産とカバレッジ、導入ライフサイクル、アドバイザリ (セキュリティアドバイザリとField Notice)、およびケースがあります。

注：Priority BugsおよびRapid Problem Resolution(RPR)は除外されています。

WAN Successトラックには、次の使用例が含まれています。

- WAN Digital Transformation Onramp: CX Cloud Agentを通じて収集されたその他のアセットテレメトリのライフサイクルサポートを有効にし、Cisco Catalyst SD-WAN Managerを使用しないお客様に対して、CX Cloudへのオンボードネットワークデバイスへのパスを提供するとともに、コントローラ管理インフラストラクチャへの移行のライフサイクルトラッキングを提供します。
- インターネットへの直接アクセスの保護：インターネットへの直接アクセスの保護により、トラフィックフローとWAN帯域幅使用量を最適化します。
- セキュアな自動WAN: Cisco SD-WANを使用すると、複数の接続タイプ間で転送を独立させてWANアプリケーションのパフォーマンスを向上させることができます。また、自動化とクラウドベースの管理によって運用と導入までの時間を簡素化し、同時にエッジセキュリティを向上させることができます

---

 注：現在、Cisco Catalyst SD-WAN Managerテレメトリには資産構成の詳細は含まれていません。これにより、セキュリティアドバイザリで説明されている、影響を受ける可能性のあるデバイスの数が増加する可能性があります。実行コンフィギュレーションがないと、CX CloudはSD-WANデバイスに設定されている機能がこの脆弱性の影響を受けるかどうかを判断できません。その結果、これらのデバイスは「該当する可能性」と表示され、「該当する理由」に「存在しない実行コンフィギュレーション」と表示されます。

CX Cloud Agentを使用してSD-WANデバイスのテレメトリを直接デバイスから取得できます。これには、実行コンフィギュレーションが含まれます。デバイスがCX Cloud Agentを使用して接続されている場合は、CX Cloud Data SourcesでCisco Catalyst SD-WAN Managerを設定しないことを推奨します。シードファイルまたはIP範囲を使用してCX Cloud Agent経由でSD-WANデバイスを接続し、セキュリティアドバイザリの影響を受ける資産の正確なリストを確認します。

---

詳細については、『[CX Cloudのテレメトリ接続](#)』を参照してください。

[サポート対象製品ファミリ](#)が更新され、新たにサポートされたWANデバイスが反映されました。

## Collaboration Successトラックの追加

CX Cloudで新しいCollaboration Success Trackが開始され、お客様はコラボレーションハードウェアエンドポイントを管理できるようになりました。

使用可能なレベル1サクセストラック機能には、資産とカバレッジ、導入ライフサイクル、アドバイザリ(Field Notice)、およびケースが含まれます。



注:Priority BugsおよびRapid Problem Resolution(RPR)は除外されています。

この新しいサクセストラックを通じて、レベル1のお客様は導入ライフサイクルのクラウドデバイスエクスペリエンスユースケースにアクセスできます。

詳細については、『[CX Cloudのテレメトリ接続](#)』を参照してください。

[サポート対象製品ファミリ](#)が更新され、コラボレーションデバイスが反映されました。

## 新しいサブスクリプションフィルタ

Collaboration SuccessトラックのAssetsタブに新しいHardware Subscriptionフィルタが追加され、お客様はOn SubscriptionまたはNot on Subscriptionでフィルタリングできるようになりました。

## Webブラウザに追加されるページタイトル

CX Cloudの機能が強化され、WebブラウザタブにSuccess TrackやUse Caseなどの特定のページ情報が表示されたり、ブラウザの履歴が表示されたりして、よりパーソナライズされたエクスペリエンスが実現されています。ブックマークは、ルートパスまたはカスタム名で保存することもできます。このパーソナライズされたエクスペリエンスにより、お客様はCX Cloudアカウントで複数のブラウザタブを簡単に区別できます。

## Today Viewの機能拡張

### 新しいカードの追加

Todayタイルが更新され、Coverage ExpiringカードとAssets Not Coveredカードが追加されました。お客様は、契約が期限切れになる資産を契約の期限切れカードで確認できるため、必要に応じて契約の更新または延長をタイムリーに行うことができます。Assets Not Coveredカードを使用すると、お客様は契約のない資産をすぐに特定でき、資産保護の潜在的なギャップに対処できます。

### 重大な障害データ

Campus Network SuccessトラックのTodayタイトルが更新され、過去24時間の重要な障害データの更新と表示が7日間に延長されました。この更新は、重大な障害のカードレット、重大な障害のカウントとテーブル情報、すべての詳細情報の表示リンクの情報、およびCSVエクスポートデータに反映されます。

## フィードバックセクションの削除

「これは役に立ちましたか」のセクションは、CX Cloudのグローバルサーチの下部から削除されました。お客様は、引き続きShare Feedbackボタン（各ページの右側）を使用してフィードバックを共有できます。



## 不具合

### 解消された不具合

このリリースには、解決された不具合はありません。

### 既知の障害

次の既知の不具合は、CX Cloudで現在開発中です。

識別子	見出し
<a href="#">CSCwi49971</a>  <a href="#">CSCwi29289</a> 	現在Cloud Network Successトラックでは、ファブリックの機能詳細ビューに、アクティブな機能と関連するアセットが重複して表示されます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。